

シートのおしゃれに変身!?

AMコーポレーション発売レカロのオリジナルバージョンSPR

RECALO SPGといえば走り屋のみならず、スポーツモデルに乗るクルマ好きなら誰もが憧れるフルバケットシートだ。身体をすっぽり包み込む絶妙な形状といい、高い剛性といい。高価なことを除けば数度の欠点も見当たらない。

フルバケットシートを装着するには、けっこうな思い切り、という切り切りが必要だ。何しろ「シートバックを倒して休む」ということが不可能になるんだから。

でも、思い切って装着してしまえば、シートが割せないくらい、それほど耐摩耗ではないと思うはずだ。

たしかに、ちょっとした不便は感じることもあるかもしれない。でも、ちょっとした不便と引き換えに素晴らしいサポート感を得ることができるとしたら、それがレカロのSPGだったらすれどもうサイコー。クルマに乗るたびにひとりで使ってしまおう。

で、写真のシートのご紹介だ。

「えっ!? SPGにこんな色付けってあった?」

実はあったのである。あまり知られてなかったけど、これまではサファリというプリンプ演習のショップだけで販売されていたオリジナルモデル「SPG」だ。

オリジナルなのは色だけじゃないぞ。表皮には不燃性繊維ノーマックスが強化されているのだ。

シート、特にフルバケといえ、おしゃれとは縁遠い機能最優先主義になりがちだ。そこにドレスアップの要素も持たせたものがこのSPRというわけ。

これまでにだって色付きのフルバケがな

ったわけじゃない。数年前からチラホラ目につくようになってきた。色付きフルバケ市場(なんのこっちゃ?)に流れさせながらレカロも参入、というわけだ。

お客様のレカロシート装着率は聞かずともわかる、トライアル(事実上このシートの販売拠点となる)のマッキー牧場さんに来てみた。

「ええやろ、このシート。やっぱきょうトレンドの発信源は関西やな。サイトーさんは、高いいうけどな、レカロは一生モノなんやよ。表面の布が破れたら張り替えられる(30000円)し、本体がイカれるなんちゅーことはまずないもん。この色かて、ブルーに飽きたらオレンジに張り替える、とか黒い普通のパツに張り替えるとかできるんやもん。シートが合ぬん、いう場合でもけっこう調整できんわん。レカロを付けとる人はクルマを買い替えるときは、ほとんどの人が外してノーマルに戻しはねん。で、新しく買ったクルマにまた付けねん。このシートは、ついこの前からウチで扱いはじめたばかりなんやけど、けっこう引き合いがあるんよ、やっぱ、レカロを知っとる人(使ったことがある人)は、レカロでないとアカンねん」

スタンダードなSPGは16万円、このSPRは19万5000円。3万5000円の差はノーマックスの差だそうぞ。



ノーマックスが強化されている点、本格的な人にならこの価格がわかってもらえます。

レカロSPRオリジナルバージョンには、ブルーとオレンジが設定されている。「このブルーはね、ヨーロッパにだけ売るとはいつたりもなくてよ」と愛用者。

このシートに関する問い合わせは
AMコーポレーション 03-732-04-3777

REV SPEED CUP
★COLUS★スーパーバトルロイヤル
in 間瀬サーキット

コルスのバトルロイヤルは、
今年から
REV SPEED CUP!

参加して楽しむ、オレたちの
チューニングカー祭りだ!



ポロハチで出場しちゃったの!? まああつかましい、Jでもね、それがあなただのおいとつこころお。とは誰も言ってくれないけど、冠の雑誌が変われば、その本の読者が参加するようになるから、いつもとメンバーが変わっておもしろそうじゃないん!

だ。なぜかスケジュールが合わなくて出場できなかったんだけど、けっこうOPT2ポロハチを目標にした読者なんかもたくさんいるから「逃げたな」って思われてるんだよね。そんなこともあって、今年の開幕戦には絶対でるゾって4ヵ月くらいまえから決めていたのだ。

この日は、午前中（フリー&予選）がウェットで午後からはスーパードライ、という大番狂わせの空模様。OPT2ポロハチ（サイトー）、JUN望ハチロク（小林

92年、OPT2 CUPシリーズとしてやってきた「コルススーパーバトルロイヤル」のタイトルが今年から変わったという情報が入った。同系列（チューニング）の雑誌（こういっちゃあ失礼かな? 「OPT2なんかと一緒にするな!」なんて怒らないでね）REV SPEEDが冠についたそう。普通だったら「他誌のイベントだから顔出すのは遠慮しとこうかな」というところなんだけど、あつかましくも参加してしまっただけ。

冠が変わっても
レースは同じ
あいかわらず
楽しいよなあ
OPT2読者諸君!
REVの読者に
挑戦よろぜ!

こう親切で、「また来てくださいな」なんて言ってくれちゃったりして。それで「ホントに行っちゃおっ!」ということ。5月1日の第2戦も参加することにしたサイトーなのだった。

エントリー
PARTY

顔ぶれ豪華ノ Ⅲクラスの巻
なんとノ バイクが好きな人なら誰でも知っているという、あのヤマハの現役ワークスライダー、永井康友選手がエン

マッキー牧原、ロケットスタートが決まってトップを快走。しかり、ジワジワ迫りくるエンジンの熱ダレならぬ、ドライバーの年ダレには勝てず。

やれやれ!



「レースの盛り上がりもハンパじゃないぜ。」



「レースが3周たつたら良かったんや」と3位入賞の喜び（?）をかみしめていました。

あなたはもしや?



永井選手ったらやっぱり速い。スピード感覚とかが違うのかなあ? ちなみにGT-Rはほとんどノーマルなんだよ。

こちらはアミューズの社長、田名達さん。スーブラを駆り、メチャ速いところを見せてくれた。この日のオーバーオールベストトップをたたき出したのは、何を隠そうこの人なのだ。



「初めて走ったんだけど」なんて言っておきながら予選はポールをゲット!! サンデーレース界の強者たちを喰らせていた。速い人ってのはどこで何やっても速いんだよなあ、と素直に実感してしまいます。

ウツヒョーッ!



F40でっせ! 本物が全開で走る姿、見てみたいと思わない? 迫力あるよー。コーナー立ち上がりなんかは、もう激っ速!

走る貴金属ノ スーパースポーツカークラスの巻 フェラーリ、しかもF40だよ、F40/いやはや、こんなクルマでレースですか!? 全開くれたらさぞかし気持ちいいことなんでしょうねえ。やっぱお目立ち度は満点。ギャラリイはいつも鈴なり状態だ。



ピクサーより
歌手デビュー

アイドルバンク (そういうジャンルがあるらしい)の Kei-Tee登場!

今シーズン、このイベントのマスコットガールの存在になったのがKei-Teeだ。

運営のお手伝いはもちろんのこと、自らもステアリングを握ってコースイン/(実は走り屋GALしだったのね)

第1戦は様子見ということでファミリー走行クラスを走っただけだったけど、次からはバトルに参加するんだって。楽しみだね。

全国の走り屋GALたち、Kei-Teeに続け!



今回はとりあえずファミリー走行。次からはレースのほうに出るんだって。ガンバってね。

(いいお知らせ)

エントリーフィー値下げ!
いままで1台(1名)につきエントリー費用2万4000円+スポーツ走行費用3500円だったのが、第3戦(5月2日)よりスポーツ走行込みで2万5000円になる。実質上2500円の値下げになるってわけ。要チェック!